

# 赤穂市女性交流センターだより

第20号 2021.5

女性交流センターには 女性のための相談窓口があります。

## 毎週火曜日から金曜日

午後1時から午後4時(祝日・年末年始除く)

電話 または 面接での相談

予約は必要ありません



## 毎月第3金曜日 と 奇数月第1金曜日

午後1時から午後4時

6月18日	8月20日	10月15日	12月17日	2月18日
7月 2日	9月 3日	11月 5日	1月 7日	3月 4日
7月16日	9月17日	11月19日	1月21日	3月18日



面接相談で予約が必要です。託児も行います。

専門カウンセラーが相談に応じます。

お問い合わせ・申し込み 赤穂市役所 市民対話課 43-6818

赤穂市女性交流センター 43-7800

FAX 43-6810 MAIL [jinnken@city.ako.lg.jp](mailto:jinnken@city.ako.lg.jp)

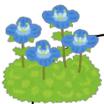
感染予防対策を行っていますので、ご協力をお願いします。

## 気分転換に脳トレ いかがでしょうか

まずは「めだかの学校」を歌ってみましょう。

♪めだかの学校は川の中 そつとのぞいて みてごらん ……みんなでお遊戯しているよ♪  
では今 歌った「めだかの学校」のメロディーで「どんぐりころころ」の歌詞で歌ってみましょう  
♪どんぐりころころ どんぶりこ お池にはまって さあ大変 ドジョウが出てきて こんにちは  
坊ちゃん一緒に 遊びましょう♪

歌えましたか？頭が混乱してしましますが、これが脳のトレーニングになるそうです。めだかの学校は昭和 26年に発表されました。この年に 500 円札が発行されたそうです。今は 500 円玉なので札を知らない人もいますよね。お風呂でこの替え歌をうたうことは、なお脳に良いそうです。また、替え歌を紹介しますね♪



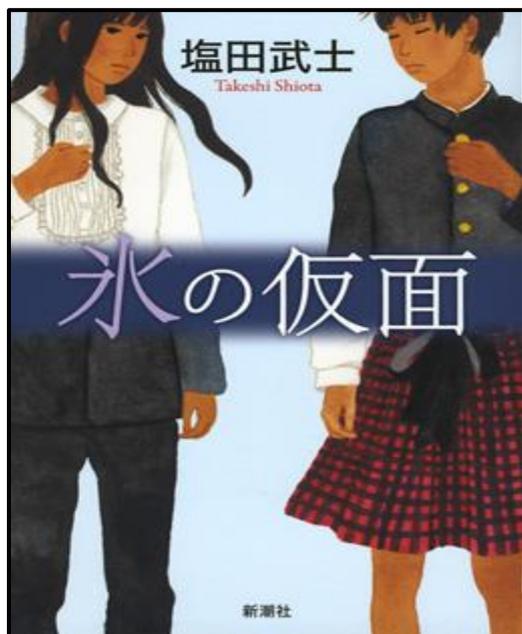
女性交流センターには、女性問題・男性問題に関する図書・行政資料をそろえ、誰にでも自由に閲覧できるような情報図書コーナーがあります。本の貸し出しも行っていますので、ご利用下さい。



## 『氷の仮面』

塩田武士

新潮社刊



塩田さんは兵庫県出身の小説家さんです。グリコ・森永事件をモチーフとした小説『罪の声』などを書かれています。

この本は「性別違和」をテーマに書かれたものです。多様な性がありますが、主人公・白水翔太郎(のちに蘭)は、心は女で体が男。女として生きていくための、4歳から30歳代までの姿が描かれています。自身の葛藤、いじめ、恋愛、仕事、性転換、親の理解など、壮絶な半生を過ごし、性同一性障害特例法・性転換の手術への道のり・戸籍の変更手続きなど、医療や法律面での課題にも直面する主人公。心と体が違うことで、乗り越えていかなければならないことがまだまだ続くのかと思うと、小説だと分かっているにもかかわらず辛さが増し、気分が重くなりました。この小説をきっかけに、多様な性や人権について

考えてみると、自分のもっている先入観や思い込みに気付くかもしれません。性の多様性に限らず、人にとって身近な理解者や支援者の存在は大きな支えですね。



### “うちの宿六”(夫の呼称)

時代小説を読んでいたら、《宿六》という言葉が出てきました。井戸の周りでおかみさんたちが洗濯しながら、夫のことを「うちの宿六」と言っています。早速調べてみると、「六はろくでなしの意味があり、自分の夫を他人に対して若干の論評を交えながら指す、一種の謙称」とありました。今も昔も友人との会話でパートナーのことを表現する時はいろいろな呼称を使いますが、「うちの宿六」にもおかみさんなりの愛情が込められていたのかもしれません。

### ◆ちいさな防災のアイデア◆ 停電時の買い物に現金があると安心

『災害時に一番強いのはやっぱり現金。食料や生活必需品、交通費、ガソリン代などすべて現金でしか購入できないので、備蓄のひとつとして現金を用意しておきましょう。

使いやすい千円札と小銭を1.2万円分は用意しておいたほうがよいと思います。』

(被災ママに学ぶ ちいさな防災のアイデア 40より引用)

手軽なカードやスマートフォンでの買い物の機会が増えていますが、停電の影響で使えなくなることも。自販機や避難中のコインシャワーなど、いざという時のために小銭も備えておくと安心です。

